

島田 ICT コンソーシアム ICT 推進プロジェクト推進計画

はじめに

1 本計画策定の趣旨

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく、地方創生推進交付金事業「ICT で人の流れを呼び込む教育・産業プロジェクト」を着実に実行し、若年世代の転出超過や産業分野における生産性及び競争力の強化などの島田市が抱える課題に対して、最大限の効果を発揮し、人口減少社会においても、地域経済の持続的な発展を実現するため、本計画を策定する。

2 本計画の性格・位置づけ

- (1) 島田 ICT コンソーシアム規約に定める目的及び事業方針に掲げる目標の達成に向けた様々な事業を展開するうえでの共有すべき指針
- (2) 地方創生推進交付金事業「ICT で人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト」の事業実施計画及び地域再生計画に掲げる目指す姿及び重要業績評価指標（KPI）の達成を目指すための事業推進計画
- (3) 島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本的な考え方に沿った事業推進計画

3 本計画の推進期間

4年間（2017（平成 29）年度から 2020（平成 32 年）年度）

4 本計画の構成

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略が掲げる「しごと 地域経済の持続的な発展」、「ひと 人口減少の克服」の2つの分野と、女性や高齢者をはじめ、ライフスタイルに合わせ、誰もが活躍できる「働き方」を加えた3つの分野において、ICTの利活用による「しごと・ひと・働き方」を一体的に推進し、人口減少社会においても地域経済の持続的な発展を可能にする仕組みの構築を目指す。

また、当コンソーシアムの「拠点となる場」を設置し、拠点を中心とした事業展開により、このプロジェクトに関わる「ひと」をつなぎ、新たな「コト」を生み出す機会とするなど、3つの取組の相乗効果を高めることを目指す。

「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方
しごと：地域経済の持続的な発展 ひと：人口減少の克服 まち：暮らしやすいまちづくり

ICT の利活用促進

ICT で人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト 実施計画・地域再生計画

島田 ICT コンソーシアム「ICT 推進プロジェクト」事業推進計画

基本理念 「ICT の利活用で、誰もが暮らしやすいまちづくり」

～産業・教育・暮らしなどあらゆる分野において ICT の効果的な活用を推進し、人口減少社会においても地域経済の持続的な発展を目指す～

目的 ICT の利活用による「しごと」・「ひと」・「働き方」の一体的推進による持続的な発展のための仕組みの構築

基本的な考え方

しごと：ICT の利活用による地域経済の持続的な発展

ひと：次世代を担う ICT 人材の育成

働き方：ライフスタイルに合わせ、誰もが活躍できる「働き方」の推進

基本目標

地元産業の ICT の導入
利活用の促進による地域経済活性化

ICT を活用し、島田で活躍する
人材の育成

ICT を活用した時間と場所に捉われない
クラウドソーシングなどの新たな働き方の創出

ICT で「ひと」をつなぎ、新たな
「コト」を生み出す場の創出

島田市の現状と課題

1 島田市を取り巻く社会情勢

- ・人口減少と少子超高齢化の急速な進行
- ・生産年齢人口の減少
- ・若年世代の転出超過
- ・主要産業（製造業、茶業等）における生産性、競争力の強化、人手不足及び働き手の高齢化

2 ICT をめぐる動き

- ・IoT、ビッグデータ、AIなどの急速な進展
- ・スマートフォン社会の到来
- ・データ活用社会の到来
- ・第4次産業革命に向けた取組

3 国の動向

- ・世界最先端 IT 国家創造宣言、官民データ活用推進基本計画の策定
- ・Society5.0の実現に向けた取組
- ・地域IoT実装の推進
- ・1億総活躍社会の推進
- ・テレワークをはじめとした「働き方改革」の推進
- ・2020年、小学校教育におけるプログラミング教育必修化

4 島田市の「強み」と「弱み（課題）」

「強み」

- ・子育て世代の転入超過
- ・お達者度県内上位（アクティブシニアが多い）
- ・市内5つの高校との連携
- ・子育て世代、特に子育て中のママ間のネットワークが強い（子育て支援団体ネットワーク）
- ・産官金が連携した島田市産業支援センターの設置

「課題」

- ・大学進学等による若年世代の転出超過
- ・少子高齢化による人手不足、働き手の高齢化
- ・市内、市外学生の中での市内企業の認知度の低さ
- ・市内産業のICTやIoT・AI・ロボットなどへの興味、関心が低い（自分には関係ない）

5 課題克服に向けた取組の方向性

- ・ICTやIoT・AI・ロボットなどの効果的な利活用
- ・女性や高齢者などの潜在的な働き手、スキルの活用
- ・課題の解決にICTを効果的に活用できる人材の育成
- ・ICT人材の育成を通じた地元の意識づけ、愛着の醸成
- ・子育て中や介護中でも、ライフスタイルに合わせて働くことができる仕組みの構築

基本方針

1 基本理念

「ICTの利活用で、誰もが暮らしやすいまちづくり」

産業・教育・暮らしなど、あらゆる分野においてICTの効果的な利活用により、人口減少社会においても地域経済の持続的な発展と誰もが暮らしやすいまちづくりを推進する

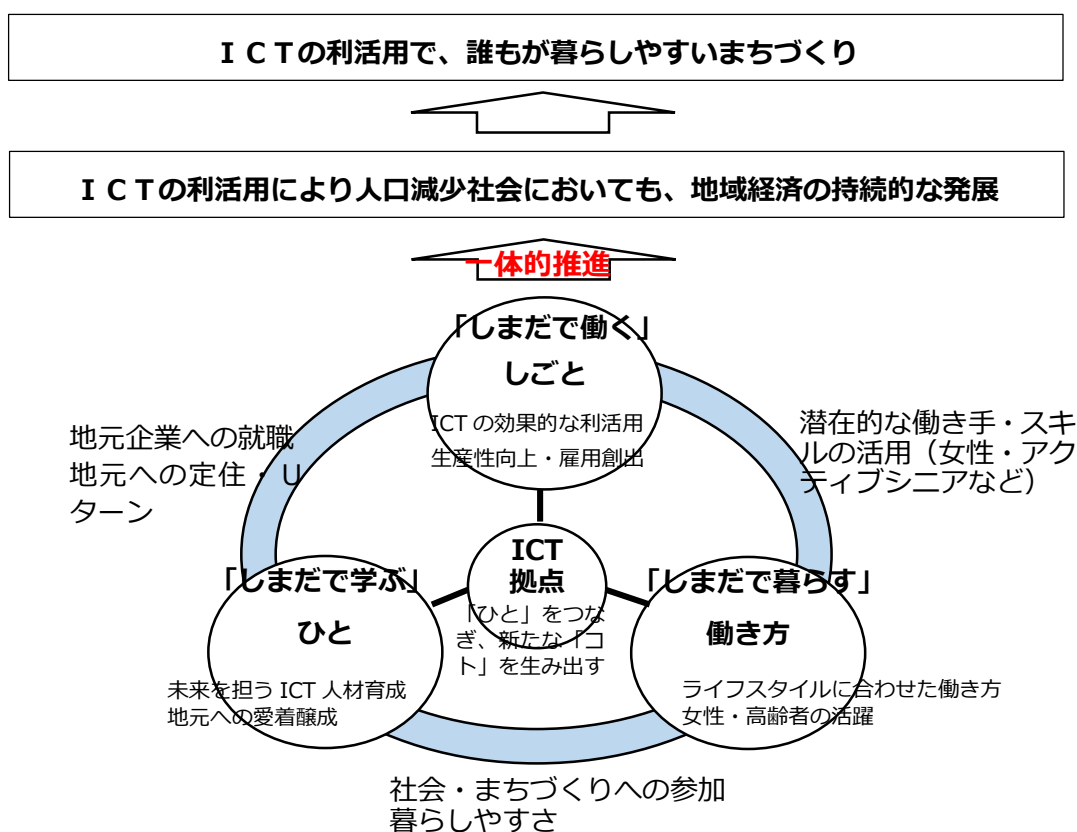
2 プロジェクトの目的

「ICTの利活用による「しごと・ひと・働き方」を一体的に推進し、人口減少社会においても地域経済の持続的な発展を可能にする仕組みを構築する」

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略が掲げる「しごと 地域経済の持続的な発展」、「ひと 人口減少の克服」の2つの分野と、女性や高齢者をはじめ、ライフスタイルに合わせ、誰もが活躍できる「働き方」を加えた3つの分野において、ICTの利活用による「しごと・ひと・働き方」を一体的に推進し、人口減少社会においても地域経済の持続的な発展を可能にする仕組みの構築を目指す。

また、当コンソーシアムの「拠点となる場」を設置し、拠点を中心とした事業展開により、このプロジェクトに関わる「ひと」をつなぎ、新たな「コト」を生み出す機会とするなど、3つの取組の相乗効果を高めることを目指す。

【「しごと・ひと・働き方」の一体的推進のイメージ】



3 目的達成に向けた基本的な考え方

(1)「しごと」 ICTの利活用による地域経済の持続的な発展～しまだで働く～

IoTやビッグデータ、ロボット、AIなどの「第4次産業革命」の技術革新を的確に捉え、島田市の基幹産業である製造業、茶業をはじめ、建設、観光、介護・福祉など様々な分野において、ICTの積極的な利活用を進め、生産性の向上や高品質化、人手不足などの課題解決に向けた取組を推進することにより、地域経済の持続的な発展を目指す。

(2)「ひと」 次世代の島田市を担う人材の育成～しまだで学ぶ～

今後、様々な分野への応用、活用が益々進むと予測されるIoT、AIなどの先端技術によって、課題を克服、解決できる人材の育成を幅広い年代で行い、次世代の島田市を担う人材を育てる。併せて、コンソーシアムを中心に、市内企業と高校生などが連携した事業実施により、市内企業の認知度を高めるとともに、生まれ育ったまちへの愛着を醸成し、将来、島田で活躍する人材を育成する。

(3)「働き方」 ライフスタイルに合わせ、誰もが活躍できる「働き方」の推進～しまだで暮らす～

生産年齢人口の減少や少子高齢化による労働力不足が懸念される中、時間や場所に捉われないクラウドソーシングなどのICTを活用した新たな働き方により、子育てや介護など様々な理由により働くことが難しい中でも、女性や高齢者などが個人のライフスタイルに合わせ、誰もが活躍できる「働き方」を推進する。

4 目的達成に向けた4つの基本目標及び取組の方向性

(1) 産業へのICT導入・利活用による地域経済の活性化

- | | |
|--------|---|
| 取組の方向性 | 1 ICTに係る情報提供、相談、導入及び利活用までの一体的支援 |
| | 2 IoT・AI・ロボット及びドローンなど、先端技術を活用した実証実験等の実施 |
| | 3 農業、特に基幹産業である茶業でのICT・IoTの利活用の促進 |
| | 4 ICT先進企業と地元企業との連携・マッチングの推進 |
| | 5 観光や防災、介護・福祉など地域の実情や課題などへのICTの利活用の促進 |
| | 6 ICTを活用しワークライフバランスの向上などを目指す「働き方改革」の推進 |

(2) ICTを活用し、島田で活躍する人材の育成

- | | |
|--------|---|
| 取組の方向性 | 1 義務教育における論理的思考や創造性を育むプログラミング教育の推進 |
| | 2 ロボットやプログラミングなどへの興味や学習意欲に応える専門講座の実施 |
| | 3 ICTを積極的に活用し、まちづくり・地域課題の解決に取り組む人材の育成 |
| | 4 IoT、AIなどの利活用に係る高いスキルを有する専門人材の育成 |
| | 5 小中学生向けの学習などで活躍する高校生、大学生等のメンター（指導者・助言者）の育成 |
| | 6 産官学が連携した事業により、地元への愛着の醸成を図り、将来、島田で活躍するICT人材の育成 |

(3) ICTを活用した、時間と場所に捉われない新たな働き方（クラウドソーシング）の創出・推進

- | | |
|--------|--|
| 取組の方向性 | 1 安心して働くことができる「島田型クラウドソーシング」の構築、運営 |
| | 2 子育て中のママやアクティブシニアをはじめとした「クラウドソーシングワーカー」の発掘、育成 |
| | 3 クラウドソーシングワーカーと仕事をつなぐ「ディレクター」の育成 |
| | 4 市内産業におけるクラウドソーシング活用の推進 |
| | 5 市外・県外企業、特に首都圏からの仕事の募集 |
| | 6 仕事だけでなく、様々な「モノ・コト」をつなぐ「シェアリングエコノミー」の推進 |

(4) ICTで「ひと」をつなぎ、新たな「コト」を生み出す場の創出

- | | |
|--------|--|
| 取組の方向性 | 1 コンソーシアム事業の拠点とし、ICTに関する情報提供、情報共有、情報交換などの場 |
| | 2 小学生から社会人、クラウドソーシングワーカーの女性や高齢者まで、世代・業種を超えた「ひと」の交流、つながりを創出し「新たなコト」を生み出す場 |
| | 3 個人、企業などがアイデアを「持ち寄り」、「実践・実験」し、アイデアを具現化するための場 |
| | 4 クラウドソーシングワーカーやフリーランスのプログラマーなど、各個人が独立して働きながら、相互にアイデアや情報を交換する中で相乗効果を目指す「コワーキングスペース」としての場 |

5 2021（平成 33）年度の目指す姿

コンソーシアムを中心に3つの取組それぞれが組織化、事業として「自走」する

地方創生推進交付金期間の終了後も、本事業で取り組む「産業への ICT 導入・利活用の促進」、「ICT 人材の育成」及び「時間と場所に捉われない新たな働き方（クラウドソーシング）の推進」の3つの取組がコンソーシアムを中心とし、「自立的」、「持続的」に事業として継続し、更なる展開を推進する。

(1) しごと（産業 ICT 導入促進）

目指す姿 「(仮) 島田 ICT 推進ラボ」の設立

組織概要 市内企業の ICT・IoT を活用し、課題解決やビジネス創出、競争力向上に向けて、必要な技術やノウハウ等の相談・研究・実践・実証実験等の取組を支援し、地域経済の持続的な発展を目指す

財 源 参加企業からの会費（実践、実証実験等は実施企業が負担）

(2) ひと（人材育成）

目指す姿 「(仮) 島田 ICT 人材育成塾」の設立

概 要 あらゆる年代・レベルに応じた ICT 人材育成プログラム、カリキュラムを提供、また市内高校生を中心に「メンター」として育成、活用し、市内企業、地域に優れた ICT 人材を継続的に供給することを目指す

財 源 受講料、市内企業からの寄附（出資）など

(3) 働き方（時間と場所に捉われない新たな働き方（クラウドソーシング））

目指す姿 「(仮) 島田クラウドソーシング運営会社（Asubi Planning）」の設立

概 要 クラウドソーシング事業の運営、また「モノ・コト」をマッチングする「シェアリングエコノミー」を導入し、地域課題の解決を図る

財 源 クラウドソーシング利用料

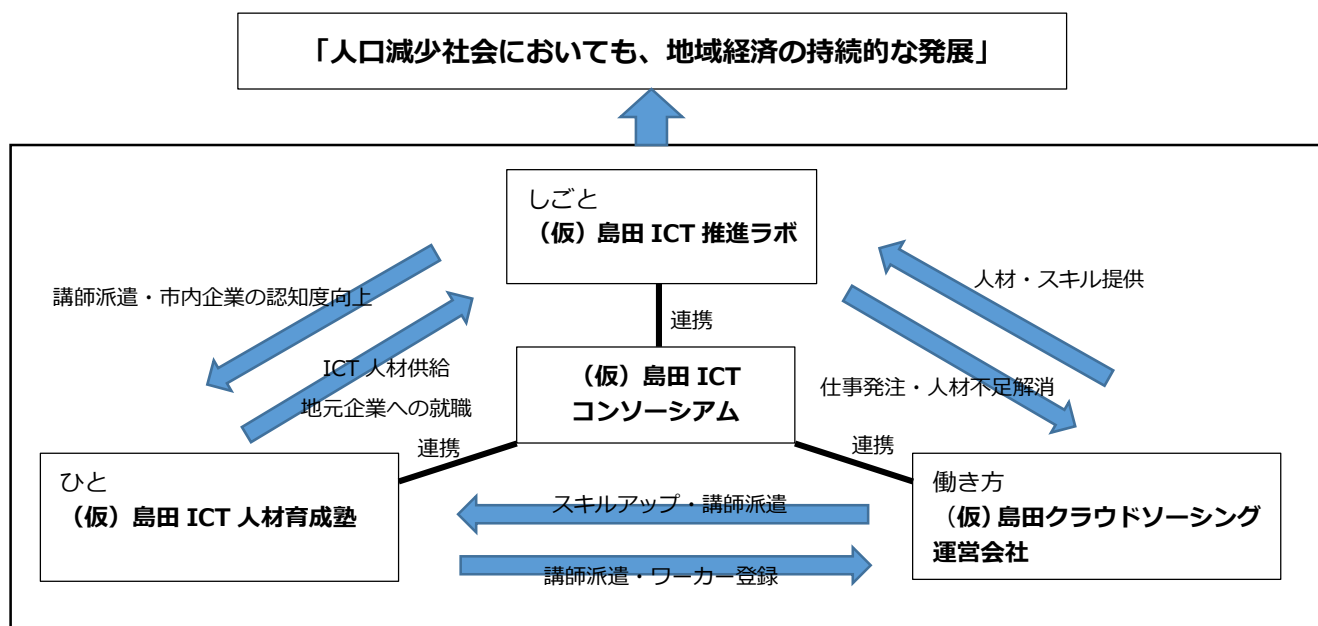
(4) 島田 ICT コンソーシアム

目指す姿 「島田 ICT コンソーシアム」の継続

概 要 市内産業の ICT 利活用、3つの事業の連携を促進させる組織として継続的に設置

財 源 会費等

【2021（平成 33）年度のイメージ図】



【2021（H33）年度に向けたロードマップ】

（人材育成事業）

	H29	H30	H31	H32	H33	
全体	事業スタート コンテンツ開発	仕組み構築 島田 ICT 人材 育成プログラム	仕組みの実践 島田 ICT 人材 育成プログラム スタート	仕組みの充実 収益モデルの 構築 プログラミング 必修化スタート	島田 ICT 人材 育成塾スタート	
学校教育 「種まき」	中学校に おけるプ ログラミ ング体験 学習の実 施	全小中学校におけるプログラミング 体験学習の実施	必修化に向け た検討・シン ポジウム開催	モデル校による 実践学習	島田市独 自プログ ラミング 学習スタ ート	島田 ICT 人材育成 塾 スタート
社会教育 「成長」	事業スタート・コンテンツ開発		島田 ICT 人材育成プログラムの実 践・充実			
アシスタント （高校生・地域）	高校生アシ スタント登用開 始	市民ボラン ティア登用開始	アシスタント・ボランティア拡大 仕組み化の検討			

【(産業 ICT 導入促進事業)】

	H29	H30	H31	H32	H33
全体	周知・啓発 ICT 利活用の 手法、効果等 の周知	発掘・支援 公募により意 欲のある企業 の発掘・育成	導入利活用の 拡大 訪問・相談・公 募による導 入・利活用の強 化	自走に向けた 準備 導入・利活用企 業の増	島田 ICT 推進 ラボスタート
訪問、相談によ る課題改善・解 決 【導入・利活用 に向けた一体的 支援】	周知・啓発 セミナーの 開催	・ ICT 相談室 の設置 ・ 訪問相談の 強化 相談支援体制 の構築	島田 ICT 相談支援体制を基にし た ICT 導入に向けた相談から導 入・利活用までの一体的支援の体 制強化		島田 ICT 推 進ラボ スタート
ICT 導入・利活 用個別プロジェ クト 【リーディング プロジェクト】	プロジェ クト立ち上げ	プロジェクト充実、新規立ち上げ検討 ※世界・日本の動向、IT 業界の動向を踏まえ検討 観光・防災・農業など、地域が抱える課題に ICT を活用 ・効果分かりやすいテーマにより ICT への興味・利活用 を促進			●意欲のある 企業同士 が集い・新 しいコトを 生み出す場
将来の島田を牽 引する企業の発 掘 【利活用促進モ デル事業の募 集】	事業提案募 集	ICT 利活用促 進モデル事業 募集開始	モデル事業募集件数の拡大 将来の島田を牽引する企業を発掘	事業報告会の開催 市内産業へフィードバックし、導入・利活用を強化	

【目指す姿に向けたロードマップ（クラウドソーシング推進事業）】

	H29	H30	H31	H32	H33
全体	周知・啓発 クラウドソーシング周知・コア人材の発掘・育成	仕組み構築・運用 クラウドソーシングの仕組み構築	拡大・充実 クライアント・ワーカーの拡大	自走に向けた準備 収益モデルの検討	Asubi planning スタート
発注企業（クライアント）・仕事	周知・啓発 セミナーの開催、訪問による周知	・訪問による発注企業の獲得 発注体験事業の実施	事業拡大 発注企業（クライアント）の増 プロジェクト型（受託型） タスク型（サイト掲載型）		Asubi planning （クラウドソーシング事業）スタート
本体・仕組み構築・運営	HP 開設・規約等、本体構築	マッチング機能の構築 本体運営スタート シェアリングエコノミー調査・検討	本体運営の円滑化・効率化 マッチング機能の充実 収益モデルの検討 シェアリングエコノミー実践 子育て、高齢者、地域課題解決		
ワーカー・ディレクター育成	周知セミナー開催 コア人材発掘・育成	ディレクター育成・養成 セミナー拡充 ワーカー育成プログラム構築	事業拡大 ディレクター人数増・スキルアップ 事業拡大 ワーカー人数増 ワーカー育成プログラムの実践・ブラッシュアップ		